

〈ジュスティーン・トリエ監督特集〉

『落下の解剖学』がカンヌ、セザール賞、アカデミー賞と快進撃を続け、世界中がその才能に注目するジュスティーン・トリエ。ギヨーム・ブラック、ヴァンサン・マケニュー、そして、公私ともにパートナーであるアルチュール・アラリらとともに、2000年以降、それまでとは異なるテーマや方法で映画を撮り始めた新世代の監督です。仕事と私生活の間で苦悩しながらも、自分の道を見出していく女性たちの繊細かつワイルドな魅力を描いてきました。トリエ・ワールドによるこそ！



ソルフェリーノの戦い *La bataille de Solferino*

【2013年/94分/フランス】
出演：レティシア・ドゥッシュ、ヴァンサン・マケニュー、アルチュール・アラリ
レポーターのレティシアはフランス大統領選挙の決選投票の取材の真最中。そこへ、娘たちとの面会を求める元夫が押しかけ…泣き叫ぶ娘たち、途方に暮れるベビーシッター、通りには歓喜と悲嘆が渦巻く。パリの歩道、バスティーユ広場やフランス社会党の本部がある「ソルフェリーノ通り」などは実際に大統領選挙決選投票の日（2012年5月6日）に撮影された。

ヴィクトリア *Victoria*

【2016年/97分/フランス】
出演：ヴィルジニー・エフィラ、ヴァンサン・ラコスト、メルヴィル・ブロー
弁護士のヴィクトリアは出席した結婚式で、昔の友人ヴァンサンと以前担当した依頼人サムに再会する。ヴィルジニー・エフィラが仕事、家庭、恋愛の間で、自分の生き方を模索する現代的な女性を魅力的に演じ、V・ラコストもその魅力を十二分に発揮、さらにM・ブローが油断のならない二枚目を好演。本国でも大ヒットの恋愛コメディ！

落下の解剖学 *Anatomie d'une chute*

【2023年/152分/フランス】
出演：サンドラ・ヒュラー、スワン・アルロー、ミロ・マシャド・グラネル
雪山の山荘で起きた転落事故。死亡した夫と夫殺しの疑惑をかけられた妻、唯一の証人となった視覚障害の息子…。事件の裁判が進む中、仲むつまじいと思われていた家族像とは裏腹の、夫婦の間の秘密や嘘が露わになっていく。第76回カンヌ国際映画祭コンペティション部門で最高賞のパルムドールを受賞、第96回アカデミー賞でも5部門にノミネートされ、脚本賞を受賞した。

〈上映スケジュール〉

*やむをえない事情により作品及び上映時間が変更される場合がございます。

6.29 [土]	14:00	あの頃エッフェル塔の下で (123分) *上映後、アルノー・デプレシャン監督トーク (オンライン)
	17:00	冷たい水 (92分)
	19:00	シェエラザード (112分)
6.30 [日]	14:00	アトランティック (106分)
	16:10	みんなのヴァカンス (100分)
	18:10	スペアキー (108分)
7.1 [月]	17:40	揺れるとき (93分)
	19:30	イノセント (100分)
7.2 [火]	17:40	パリの記憶 (105分)
	19:45	シェエラザード (112分)
7.3 [水]	17:40	恋するアナイス (98分)
	19:40	フランス (134分)
7.4 [木]	17:40	思春期 彼女たちの選択 (136分)
	20:10	揺れるとき (93分)
7.5 [金]	17:40	冷たい水 (92分)
	19:30	みんなのヴァカンス (100分)
7.6 [土]	14:00	ソルフェリーノの戦い (94分)
	15:50	ヴィクトリア (97分) *上映後、坂本安美さん作品解説
	18:20	落下の解剖学 (152分)

7.7 [日]	14:00	そんなの気にしない (115分) *上映後、トーク有
	16:50	思春期 彼女たちの選択 (136分)
	19:40	イノセント (100分)
7.8 [月]	17:40	あの頃エッフェル塔の下で (123分)
	20:00	恋するアナイス (98分)
7.9 [火]	17:40	そんなの気にしない (115分)
	20:00	スペアキー (108分)
7.10 [水]	17:40	フランス (134分)
	20:10	ヴィクトリア (97分)
7.11 [木]	17:40	アトランティック (106分)
	19:45	パリの記憶 (105分)
7.12 [金]	17:40	落下の解剖学 (152分)
	20:30	ソルフェリーノの戦い (94分)

*トークイベント
6.29 [土] 『あの頃エッフェル塔の下で』上映後、アルノー・デプレシャン監督トーク！
7.6 [土] 坂本安美 [アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任] による作品解説
7.7 [日] 『そんなの気にしない』上映後、トークを予定しています。

入場料金 [全席指定・定員入替制]
1回券 = 1500円 / 大学生・専門学校生 1200円 / シニア 1200円 / 高校生以下・障がい者 1000円 / ジャック&ベティ会員、東京日仏学院・横浜日仏学院会員 1000円 / リピーター割引 = 1000円 (窓口のみ) | 開場時間: 上映の10分前 | チケットは、劇場HP (オンライン)、窓口共に、ご鑑賞日の3日前から指定席で発売します。

mois de la critique
映画批評月間

映画批評月間〈横浜2024スペシャルエディション〉
フランス映画の現在をめぐって

Mois de la critique – édition spécial Yokohama 2024

子どもたち、若者たち、恋人たち

冷たい水 | 1994 あの頃エッフェル塔の下で | 2015
シェエラザード | 2018 思春期 彼女たちの選択 | 2019
みんなのヴァカンス | 2020 揺れるとき | 2021 スペアキー | 2021

女たちの現在

アトランティック | 2019 フランス | 2021
恋するアナイス | 2021 そんなの気にしない | 2022
パリの記憶 | 2022 イノセント | 2022

ジュスティーン・トリエ監督特集

ソルフェリーノの戦い | 2013
ヴィクトリア | 2016
落下の解剖学 | 2023

〈トークゲスト〉

アルノー・デプレシャン 監督 (オンライン)
坂本安美 [アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任]
ほか

2024
6.29 [土] — 7.12 [金]
横浜シネマ・ジャック&ベティ

主催 横浜シネマ・ジャック&ベティ/一般社団法人コミュニティシネマセンター 企画協力 アンスティチュ・フランセ 助成 アンスティチュ・フランセパリ本部
フィルム提供及び協力 セテラ・インターナショナル、ギャガ・コミュニケーションズ、GEKO FILMS、グッドフェローズ、オレンジ・スタジオ、Simple+



【会場】
横浜シネマ・ジャック&ベティ
〒231-0056 横浜市中区若葉町3-51
☎045-243-9800
<https://www.jackandbetty.net/>



映画批評月間〈横浜 2024 スペシャルエディション〉

フランス映画の現在をめぐって

Mois de la critique – édition spécial Yokohama 2024

アンスティチュ・フランセが、フランスの映画媒体、批評家、専門家、プログラマーと協力し、最新のフランス映画を選びすぐり紹介する特集「映画批評月間」。これまでに「映画批評月間」で上映してきた作品の中から、「子どもたち、若者たち、恋人たち」、「女たちの現在」というテーマで選んだ作品たち、そして『落下の解剖学』で、世界中で注目されるジュスティース・トリエの作品を集めます。

〈女たちの現在〉

価値観が多様化し急激に変化する社会の中で、女性の生き方も大きく変化してきました。仕事、恋愛、家族、セクシュアリティ…苦悩し、もがきながらも、生き生きと、ときに楽しみながら自分らしい生き方、愛し方を模索する女性たち。そうした新たな女性像をレア・セドゥ、アナイス・ドゥームスティエ、ヴィルジニー・エフィラ、ノエミ・メルラン、アデル・エグザルコプロスといった新世代の女優たちはどのように表現しているのでしょうか。

アトランティック *Atlantique*

[2019年/106分/カラー/フランス、セネガル、ベルギー]

監督: マティ・ディオップ

都市開発が進むセネガルの首都ダカール。建設現場で働くスレイマンと恋仲にある17歳の少女アイダは、裕福な婚約者との結婚を控えていた。職場に耐えかねたスレイマンたちはスペインへと旅立つ。女たちが残された空虚な港町へ、彼らは思いもよらない姿で帰還する。現代セネガル社会の暗部を映しながら意表を突くストーリーと幻想的なビジュアルイメージで唯一無二の世界観を打ち出したマティ・ディオップ初長編作品。2019年カンヌ国際映画祭コンペティショングランプリ。



フランス *France*

[2021年/134分/カラー/フランス=ドイツ=イタリア=ベルギー]

監督: ブリュノ・デュモン 出演: レア・セドゥ、バンジャマン・ピオレ、ユリアーネ・ケーラー

スター・ニュースキャスター、フランス。交通事故で移民家族の息子に怪我を負わせたことをきっかけに生き方を変えようとするが…。プロの俳優を使いたがらないブリュノ・デュモンが、主演にレア・セドゥを迎えた。一人の女性の肖像であり、フランスという国、メディアというシステムの肖像でもある。第74回カンヌ国際映画祭コンペ部門出品。



恋するアナイス *Les Amours d'Anaïs*

[2022年/116分/カラー/フランス]

監督: シャルリーヌ・ブルジョワ=タケ 出演: アナイス・ドゥームスティエ、ヴァレリア・ブルーニ=テデスキ、ドゥニ・ボダリデス

博士論文も書き終えられず、将来にも恋愛にも見通しが立たない30歳のアナイス。ダニエルという年配の男性とつき合い始めるが、次第にダニエルのパートナー、エミリーに魅かれていく。第74回カンヌ国際映画祭批評家週間で見目を集めたシャルリーヌ・ブルジョワ=タケの長編デビュー作。



そんなの気にしない *Rien à foutre*

[2022年/115分/カラー/フランス=ベルギー]

監督: エマニュエル・マール、ジュリー・ルクストル 出演: アデル・エグザルコプロス、アレクサンドル・ペリエ、マラー・タキーン

格安航空の客室乗務員カサンドラは、フライトからフライトへ、パーティーからパーティーへ、しがらみのない毎日を生きている。しかし、会社のプレジデントは厳しさを増し、カサンドラは次第に自分を見失っていく。A・エグザルコプロスが素晴らしい演技を見せている。第75回カンヌ国際映画祭批評家週間出品。



バリの記憶 *Revoir Paris*

[2022年/105分/カラー/フランス]

監督: アリス・ウィンクール 出演: ヴィルジニー・エフィラ、フワ・マジメル、グレゴワール・コラン

ミアはバリのとあるブラッスリー襲撃事件に巻き込まれてしまう。3ヶ月経ってもかつての日常を取り戻せないミアは、襲撃現場を訪れ当時の記憶を辿りはじめ。2016年にパリで起きた同時多発テロ事件を彷彿とさせる。気鋭の若手女性監督A・ウィンクールの長編4作目。カンヌ映画祭監督週間出品。



イノセント *L'innocent*

[2022年/100分/カラー/フランス]

監督: ルイ・ガレル 出演: ルイ・ガレル、ロシュディ・ゼム、ノエミ・メルラン、アヌーク・グランベール

60歳の母シルヴィが服役中の男と結婚しようとしていることを知ったアベルはパニックになる。親友のクレマンの助けを借りて、母を守るために男を追い始める。しかし、新しい継父ミシェルとの出会いはアベルを変えていくことに…。人気俳優であり、監督としても着々と力を付けているルイ・ガレルの監督長編4作目。ペース溢れる家族ドラマから、60年代のイタリアン・コメディ、そして犯罪コメディへとジャンルを横断していく快作。



〈子どもたち、若者たち、恋人たち〉

おとなへと近づく通過儀式の中で自分のうちなる欲望、エネルギー、感情をうまく制御できず、不安定で、ときに野蛮で、ときに繊細、とにかく生命力、好奇心、驚きに満ちた若者たち。そんな若者たちの身体、心の動き、囁き、叫び、世界との対峙、出会いを映画はどのように描いてきたでしょうか。

冷たい水 *L'eau froide*

[1994年/92分/カラー/フランス]

監督: オリヴィエ・アサイヤス 出演: ヴィルジニー・ルドワイヤン、シブリアン・フーケ、ラズロ・サボ

1972年の冬のある日。日常のすべてに鬱屈を抱える少女が同級生の少年を連れ、森の奥へ逃げ出す。ジャンス、CCR、アリス・クーパー…。当時のアメリカン・ロックの響きと若者たちの躍動が交錯する。「16ミリの超軽量カメラを使用し、低予算、短期間で、まるでアンダーグラウンド映画を撮っているようで、70年代の雰囲気がいざと甦ってきた」(O・アサイヤス)。



あの頃エッフェル塔の下で *Trois souvenirs de ma jeunesse*

[2015年/123分/カラー/フランス] *R15+

監督: アルノー・デプレシャン 出演: マチュー・アマルリック、カンタン・ドルメル、ルー・ロワ=コリネ

恋愛映画の金字塔『そして僕は恋をする』から20年の時を経て、人生も半ばを過ぎた主人公が、恋に生きた青春の日々を追憶する。長い海外生活を終えてフランスへ戻ることになった人類学者で外交官のポールは、スパイ疑惑がかけられ空港で止められ、心の奥にしまい込んでいた青春時代の思い出を呼び起こしていく。



シェエラザード *Shéhérazade*

[2018年/112分/カラー/フランス] *R12+

監督: ジャン=ベルナル・マルラン 出演: ディラン・ロベール、ケンザ・フォルタス、イディール・アズグ

ザカリは17歳、刑務所から出所したばかり。母親にも見捨てられ、マルセイユの下町をぶらついたところ、シェエラザードという名の少女と運命的な出会いをする……。2018年ジャン・ヴィゴ賞受賞作品。「J・B・マルランの初監督作は、マルセイユのある界隈の社会的暴力に鋭く切り込む。そしてその界限出身の初映画出演の俳優たちに白熱のエピソードを提供する」(マルコス・ウザル、リベラシオン)。



思春期 彼女たちの選択 *Adolescentes*

[2019年/135分/カラー/フランス/ドキュメンタリー]

監督: セバスチャン・リフシッツ

育った環境も、性格も似ていないアナイスとエマ。13歳から18歳、思春期を生きる少女2人の5年間を追ったドキュメンタリー。エマとアナイスの間に少しずつ差異が生まれ、互いの距離が広がっていく。2020年ルイ・デュリュック賞受賞。



みんなのヴァカンス *À l'abordage*

[2020年/100分/カラー/フランス]

監督: ギヨーム・ブラック 出演: エリック・ナンチュアング、サリフ・シセ、エドゥアール・シュルピス

女の子、もてない男、水遊び、サイクリング、嫉妬、諍い…。勢いにまかせて夏を謳歌しようとする若者たちの姿を、ギヨーム・ブラック監督が優しい眼差しで描いた青春映画。南フランスのきらびやかな風景の中、不器用で愛おしいヴァカンスが、静かに映し出されていく。



揺れるとき *Petite nature*

[2021年/93分/カラー/フランス]

監督: サミュエル・セイス 出演: アリオシャ・ライナート、アントワン・ライナツツ、メリッサ・オレクサ、イジア・イジュラン

10歳のジョニーは東フランスの貧しい地域でシングルマザーの母と二人の兄妹と共に暮らしていた。敏感で賢い彼は様々な物事に関心を持つが、ある日、都会から赴任してきた新任教師に心惹かれてゆく。注目の若手監督サミュエル・セイスの長編2作目。カンヌ国際映画祭(批評家週間)出品。



スぺアキー *Fifi*

[2021年/108分/カラー/フランス]

監督: ジャンヌ・アスラン&ポール・サンティアン 出演: セレスト・ブリュンケル、カンタン・ドルメル

フランス東部の町ナンシー。低家賃住宅で暮らすソフィーは、カオスな家庭環境にウンザリしている。夏のある日、ヴァカンスへ旅立つ旧友の大きな家の鍵を手にして…。人生と自由に目覚めていく少女を瑞々しく演じるS・ブリュンケル、デプレシャンの『あの頃エッフェル塔の下で』で発見されたC・ドルメルを迎えた、詩情とユーモア溢れる作品。

